

# グラウンドゴルフ



## 1 グラウンドゴルフとは

グラウンド・ゴルフとは、昭和57年に鳥取県泊村が文部省の生涯スポーツ推進事業の一貫として、開発研究し誕生したゴルフをアレンジしたスポーツです。

『いつでも、だれでも、どこでも』がスローガンのように、場所を限定せず、ルールも簡単なため、子供から高齢者まで幅広く愛され、全国に広く普及されています。

昭和58年には、(社)日本グラウンド・ゴルフ協会も設立。交流の輪がどんどん広がっています。

## 2 特徴

### ● 場所を選びません

運動場、河川敷、公園、庭などなど、障害物や起伏があっても楽しめます。その場所に合わせて、スタートからの距離とホール数を決められます。

### ● 準備は簡単

ホールポストをたてればOKです。

### ● ルール

スタートからホールポストにできるだけ少ない打数でボールを入れていきます。合計打数の少ない方が勝ちです。

### ● 人数制限はありません

それぞれのホール毎にスタートできます。人数に制限はないので、チーム競技から個人競技まで楽しめます。

### ● 審判員はプレーヤー

ゲーム中の判定はプレーヤー自身が行います。ただし、判定が困難な場合は、同伴プレーヤーの同意を求めてください。

### ● 高度な技術はいりません

高度な技術を必要とせず、プレーそのものの体力をあまり必要としないので、子供から高齢者の方、またファミリースポーツとしても楽しめます。

## 3 用具

専用クラブ、ボール、ホールポスト、スタートマット等が必要です。



(↑①クラブ、②ボール、③スコアカード、  
④マーカー)



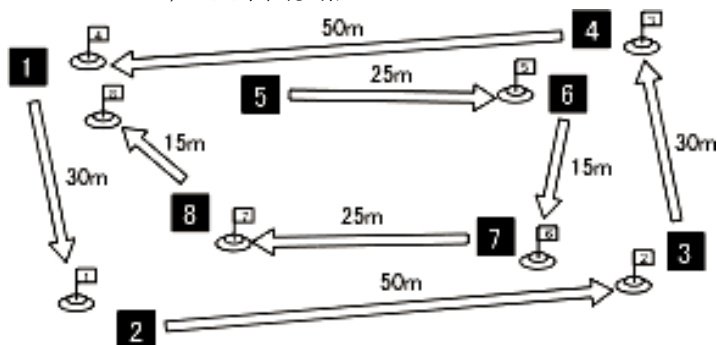
(↑①ホールポスト、  
②旗、  
③スタートマット)

## 4 コース

グラウンド・ゴルフのコースは、プレーする場所や人数・技能の条件に応じて、適切なコースを設定すればいいのですが、標準コースを設けています。

外回りコース 4ホール (30m・50m・30m・50m)

内回りコース 4ホール (25m・15m・25m・5m) ※下図参照



## 5 ゲーム

個人プレーと団体プレーの両方でプレーできます。1チームは通常6人です。

1打目をスタートマットより打球し、直径36cmのホールポストの輪の中に静止(トマリ)までを競います。

通常8ホールポストをまわり、その総打数が少ないプレーヤー(チーム)が優勝となるゲームです。

## 6 ルール

### 第一章 エチケット

**第1条** プレーヤーは、自分のプレーが終わったら、すみやかに次のプレーヤーの妨げにならない場所に行く。

**第2条** プレーヤーは、同伴のプレーヤーが打つときには、話したり、ボールやホールポストの近くやうしろに立たない、また、自分たちの前に行く組が終了するまで、ボールを打たない。

**第3条** プレーヤーは、自分の作った穴や足跡を直して行く。

### 第二章 ゲームに関するルール

#### 第4条 ゲーム

ゲームは、所定のボールを決められた打順にしたがってスタート位置から打ち始め、ホールポストに入って静止した状態「トマリ」までの打数を競うものである。

#### 第5条 用具

クラブ、ボール、ホールポスト、スタートマットは、定められたものを使用しなければならない。

#### 第6条 ゲーム中の打球練習

プレーヤーは、ゲーム中いかなる打球練習も行っては成らない。本条の反則は1打付加する。

#### 第7条 援助

プレーヤーは、打つとき足場を板などで作ったり、人に支えてもらったりするなど、物的・人的な援助やアドバイス、あるいは風雨からの援助を求めたり、受けたりしてプレーしてはならない。本条の反則は1打付加する。

**第8条** ボールはあるがままの状態プレーヤーは、打ったボールが長い草や木のしげみなどの中に入ったとき、ボールの所在と自己のボールであることを確かめる限度においてのみ、これらのものに触れることができる。草を刈ったり、木の枝を折ったりしてプレーしてはならない。本条の反則は、1打付加する。

#### 第9条 ボールの打ち方

プレーヤーは、ボールを打つときはクラブのヘッドで正しく打ち、押し出したりかき寄せたりしたときは1打付加する。ただし、空振りの場合は打数に数えない。(元の位置に戻して打ち直す)

#### **第10条 プレーの妨げになるボール**

プレーヤーは、打ったボールが紛失したり、コース外に出たときは1打付加し、ホールポストに近寄らないで、プレー可能な箇所にボールを置き、次の打を行わなければならない。

#### **第11条 プレーの妨げになるボール**

プレーヤーは、プレーの妨げになるボールを、一時的に取り除くことを要求することができる。取り除くのは、ボールの持ち主であり、その際ホールポストに対して、ボールの後方にマークをして取り除かなければならない。

#### **第12条 他のプレーヤーのボールに当たったとき**

プレーヤーは、打ったボールが他のプレーヤーのボールに当たったときは、そのままボールの止まった位置からプレーを続ける。当てられたプレーヤーはもとの位置にボールをもどさなければならない。

#### **第13条 止まったボールが風によって動いたとき**

プレーヤーは、打ったボールが動いている間は、ボールを打ってはならない。風によってボールが動いたときは、静止した場所からプレーをし、動いてホールポストに入った場合はトマリとする。

#### **第14条 第1打がホールポストに入ったとき**

プレーヤーは、打ったボールが1打目でトマリ(ホールインワン)になったときは、合計打数からホールインワン1回につき3打差し引いて計算する。

#### **第15条 ゲーム中の判定**

ゲーム中の判定はプレーヤー自身が行う。ただし、判定が困難な場合は同伴プレーヤーの同意を求める。

#### **第16条 標準コース**

標準コースは、外回りコース4、内回りコース4の合計8ホールポストを原則とする。